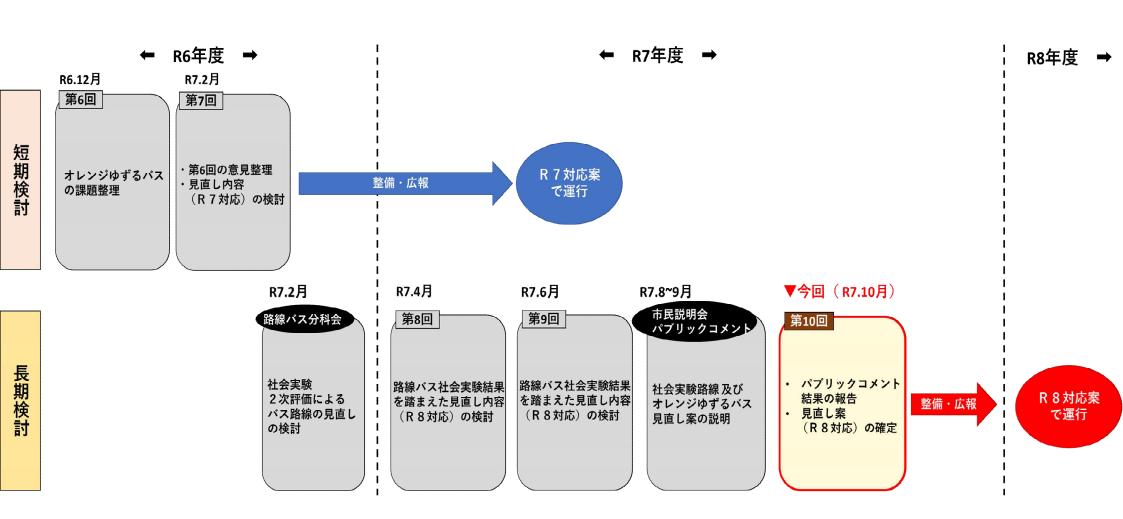
第10回オレンジゆずるバス再編検討分科会【資料①】

# 市内バス路線(阪急バス・オレンジゆずるバス) の見直し(素案)のパブリックコメントに関する結果について

### スケジュール

# スケジュール (予定)



2

●パブリックコメントの概要

...P4

●パブリックコメントのご意見と対応について

...P 7

# パブリックコメントの概要

### パブリックコメントの概要

### 実施概要

「市内バス路線の見直し(素案)」についてパブリックコメントおよび市民説明会を実施しました。

### パブリックコメント

#### 【実施期間】

令和7年8月12日(火)から9月19日(金)まで

#### 【提出意見数】

52人(個人・団体を含む)・118件



### 市民説明会

### 【実施場所・参加人数】

■ 1分口	n±88	相式	会もは光
開催日	時間	場所	参加人数
令和7年8月18日(月)	19:00~20:30	とどろみの森学園	3名
令和7年8月19日(火)		多文化交流センター	5名
令和7年8月20日(水)		中央生涯学習センター	18名
令和7年8月21日(木)		東生涯学習センター	17名
令和7年8月24日(日)	13:45~15:15	みのお市民活動センター	15名

計58名

※別途、YouTubeにて説明動画を公開しました。(視聴回数:290回)

### パブリックコメントの概要

### 実施結果(オレンジゆずるバスの見直しに関するご意見)

オレンジゆずるバスについては、34件※のご意見をいただきました。

※複数内容についてご意見いただいたものは、それぞれカウントしております。

ご意見の内容区分	件数
「ルート」に関するご意見	17件
「便数」に関するご意見	3件
「ダイヤ」に関するご意見	4件
「運賃」に関するご意見	2件
「その他(利用促進など)」に関するご意見	8件
計	3 4 件

## ルートに関するご意見

ご意見	対応方針など	
<b>青ルートの箕面萱野駅へのアクセス</b> ・ 箕面萱野駅に停車してほしい ・ 移動が困難な高齢者のために、東向きも箕面萱野駅に停車するようにしてほしい等	<ul> <li>第8・9回分科会では、青ルートの箕面萱野駅へのアクセスについて検討いただき、青ルートの西向きのみ箕面萱野駅へアクセスする見直し内容といたしました。</li> <li>⇒パブリックコメントを踏まえ、今回(第10回分科会)のワークショップで箕面萱野駅へのアクセスについて再検討いただきます。</li> </ul>	
黄ルートの箕面萱野駅へのアクセス ・ 黄ルートも箕面萱野駅に停車してほしい。 ・ 桜井駅・牧落駅から箕面萱野駅行きのバス路線がほしい。等	<ul> <li>第8回分科会では、黄ルートの箕面萱野駅のアクセスについて路線バスの補完(日中の時間帯における箕面萱野駅~小野原東の減便への対応)の観点から検討いただき、オレンジゆずるバスとしては補完しないものといたしました。</li> <li>⇒パブリックコメントで西部地域から要望があったことを踏まえ、今回(第10回分科会)のワークショップで箕面萱野駅へのアクセスについて検討いただきます。</li> </ul>	
<ul><li>赤ルートの再編内容</li><li>・ 如意谷地区、小野原地区から東生涯学習センターや第二総合運動場に直接行けなくなり、学習や運動の機会がなくなった。</li></ul>	<ul> <li>北大阪急行線延伸に伴うバス路線再編において、新たな交通結節点となる箕面萱野駅へのアクセスを検討する中で、如意谷地域⇔箕面萱野駅間は路線バスが運行している一方、平和台地域は路線バスの運行がなく箕面萱野駅へアクセスできないものであったため、当該地区のルートを入れ替えています。</li> <li>また、バス路線再編前のルートにおいては恒常的に遅延が発生しており、安全運行の観点から定時性の確保が課題となっていたことから、令和6年3月のバス路線再編時に小野原地域⇔粟生地域の運行を取り止めることとしました。</li> <li>小野原地域から東生涯学習センターを経由し、箕面萱野駅へ向かう路線バスの新規ルートの設定を予定しています。</li> </ul>	

## ルートに関するご意見

ご意見	対応方針など	
ホルートの最終便のルート延長 ・ 最終便の外院の里止まりを入庫回送路を活用して 粟生外院まで路線延長できないか。もしくは最終 便だけ粟生外院から粟生団地に向かえないか。	<ul> <li>運転士の勤務時間や配置を調整のうえ、赤ルート12便の運行を</li></ul>	
市外鉄道駅等への乗り入れ ・ 青ルートに千里中央を、黄ルートに北千里駅を追加すれば利便性は向上するのではないか。他市への乗り入れはできないのか?	• オレンジゆずるバスは「市内完結型」「市内公共施設への輸送」 を役割としており、市外アクセスについては、所要時間が増加し、 運行本数の減少など既存利用者への影響が大きいため、見直しを 行わない方向とします。	

# 便数に関するご意見

ご意見	対応方針など		
<b>運行時間の拡大</b> ・ 終バスの延長 ・ 休日の運行時間の拡大等	<ul><li>・ 令和6年4月からバス運転士に関する労働時間の規制が強化されました。</li><li>・ 運転士不足の現状から運行時間帯の拡大は難しく、また基準も下回っていることから、運行時間の拡大はしない方向とします。</li></ul>		
<b>便数の増発</b> ・ バスの運転士不足は今に始まった事でなく、オレンジゆずるバスを増便すべきではないか?	<ul> <li>30分間隔での運行とするには、乗り継ぎを前提としたバス路線に変更するなど、ルート距離を大幅に短縮しなければならず、オレンジゆずるバスのコンセプトを見直す必要があります。</li> <li>運転士確保の課題や市民意見・利用定着も見られることから、分科会として今回は見直しを行わない方向とします。</li> </ul>		

# ダイヤに関するご意見

ご意見	対応方針など	
市立病院の受付開始時間 (8:30) を基準としたダイヤの見直し ・ 診察時間は予約制のため、開院時間に合わせる必要はなく、運行間隔をあけられないか ・ 路線バスとオレンジゆずるバスの時刻をずらして均等にしてほしい等	<ul> <li>「各地域から市立病院の受付開始時間に到着できること」、「乗り継ぎの際の待ち時間に配慮」の2点から現在の市立病院の受付開始時間を基準としたダイヤ設定となっています。</li> <li>現在においても、市立病院の当日枠の受付は8時30分とされており、受付開始時間に向けた利用も各地域から確認され、利用の定着が見られることから、分科会として今回は見直しを行わない方向とします。</li> </ul>	
タクトダイヤの導入 ・「タクトダイヤ(※)」を取り入れ、ゆずるバス どうしの乗り継ぎの利便性の向上、乗車機会の増 加を実現していただきたい。 (※)複数の路線がほぼ同時刻に主要なバス停に到着し、 お互いに乗り換えができるよう設定されたダイヤ	• 現在の運行ルートで「タクトダイヤ」を導入した場合、運行時間が増加しパターンダイヤを維持出来なくなることや、3台以上のバスが同時に停車する場所を確保することが困難であることなどから導入は行わないこととします。	

## 運賃に関するご意見

に思見	対心力針なと	
<b>運賃の見直しについて</b> ・ 阪急バス+オレンジゆずるバスで1日券500円とすればよい ・ 一部の乗車運賃支払いにおいて、割引が使えないのは早急に対応すべき	<ul> <li>オレンジゆずるバスの運賃制度については、箕面市地域公共交通活性化協議会において引き続き検討してまいります。</li> <li>高齢者割引運賃などを利用する場合、現在は現金のみとなり、ICカードによるお支払いが出来ません。システムの改修費用など導入にかかるコストと、収益や利便性の効果を総合的に判断したうえ、検討してまいります。</li> </ul>	

# その他(利用促進など)のご意見

ご意見	対応方針など
バス停の統合・廃止 ・ 市立病院〜豊島高校前のバス停は距離が近く、市 立病院と稲ふれあいセンターの2ヶ所に統合して も良いと思う	・ 利用定着の観点等から、 <mark>現状維持(変更なし)</mark> の方向性とします。
バス停の移設(渋滞対策) ・ 箕面市役所バス停(箕面駅方面)が交差点に近すぎ、 交通の支障になるので北側に移設して欲しい。	<ul><li>道路幅員など道路構造の観点より、バス停の移設は難しく、現行位置のままとします。</li><li>交通への支障について、道路管理者にご意見を共有のうえ、改善を要望いたします。</li></ul>
イベント等との連携による利用促進・情報発信 ・運行開始から15周年を記念した企画を実施してほしい。 ・子ども向けの企画の実施や企業からの協賛、ふるさと納税を活用した財源確保を検討してほしい。	<ul> <li>箕面まつりへの参加、オレンジゆずるバスサポーター店等、現行の利用促進施策を継続します。</li> <li>今後幅広い世代に関心を持っていただけるよう、様々な取り組みを検討してまいります。</li> <li>⇒ワークショップ終了後、事務局から無料乗車イベントの結果や新たな利用促進策の検討についてご報告いたします。</li> </ul>
分かりやすい情報発信 ・ 最終便が途中バス停までの運行であることを知らなかった。時刻表に表示してほしい。	<ul><li>みなさまにとって分かりやすく、利用しやすいものとなるよう今後の参考にさせていただきます。</li></ul>
高齢化社会に合ったバス運行 ・ 高齢者の運転事故が社会問題にもなっており、高齢者が安心して免許返納できるようにしてほしい。	高齢者の社会参加と介護予防の機会を確保するため、70歳以上 のかたに対し高齢者運賃割引証を発行し、オレンジゆずるバスの 運賃を通常の250円から100円に割り引く「高齢者運賃割引 制度」を実施しています。

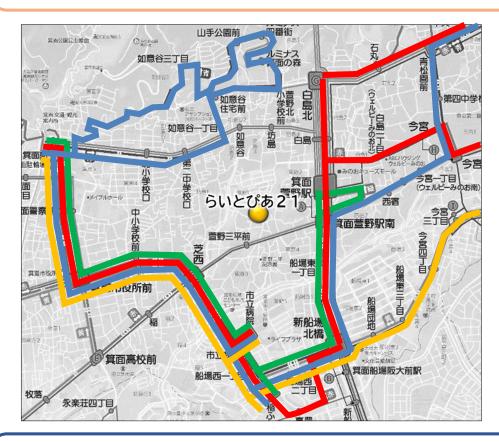
# その他(利用促進など)のご意見

ご意見	対応方針など	
<b>遅延の改善</b> ・ オレンジゆずるバスは遅れることも多く、遅延する原因を見極めて改善してほしい	<ul> <li>令和6年3月のバス路線の再編にあたり、オレンジゆずるバスについては安全運行や遅延の解消を目的とし、各ルートの運行距離を短くし、運行時間を確保できるよう見直しを行いました。</li> <li>バス路線再編後のオレンジゆずるバス利用者アンケートの結果、バスの定時性については満足傾向が上昇し不満傾向が減少となるなど、見直しによる効果は一定確認されています。</li> <li>引き続き定時運行に努めてまいりますが、道路交通状況やバス利用者への対応により、バスの発着が遅れる場合がございますが、ご理解お願いいたします。</li> </ul>	
<ul> <li>整備・安全運行について</li> <li>・オレンジゆずるバスの保全、整備(バス停の美化、立て看板の危険性、バスの時刻表の管理)ができていない。</li> <li>・ 道幅が広くなっていないのに、発足時のバスよりサイズが大きくなり、車両とのすれちがいが危険</li> </ul>	<ul> <li>オレンジゆずるバスは、令和3年度に発足当時のバス車両から更新を行い、新しい車両での運行を開始していますが、車両サイズの変更は行っていません。</li> <li>道路管理者とも連携を図りながら、引き続き安全運行に努めてまいります。</li> </ul>	

### バス停の新設

#### ご意見の趣旨

• オレンジゆずるバスは、地域と公共施設をつなぐ重要な役割があります。萱野東西線のバス停設置や、らいとぴあ付近のバス停を加えるように要望します。稲ふれあいセンターに行く場合も、近隣に「ゆずるバス停」がなく、第2中学校周辺のゆずるバス路線拡充を求めます。【原文のとおり】



現在、オレンジゆずるバスは「らいとぴあ21」周辺に停車しない。 【参考:らいとぴあ21への公共交通によるアクセス手段】

阪急バス「萱野三平前」より、徒歩3分程度。 北大阪急行「箕面萱野駅」より、徒歩10分程度。

#### 【現状】

- 安全運行や恒常的な遅延解消のため、定時性の確保は不可欠で、現在、ダイヤに余剰がない状況。
- ⇒当該地域へのバス停の設置にあたっては、**ルートの大幅な 見直しが必要**となり**運行できない地域が生じるなど**、既存 のバス利用者への影響が大きいと考えられる。また、バス **運転士不足の現状から新たなルートの設定は難しい**。

【第7回分科会での協議結果(ルート・バス停の見直し)】

- 再編後、1年に満たない状況での判断は問題が生じるのではないか。利用者が少なくても需要があれば維持。
- ・ 基本的に維持。オレンジゆずるバス再編時のコンセプト (既存バス停を存続) から、現時点では廃止はない。
- 利用定着の観点からも維持とした方がよい。



#### これまでの協議をふまえた対応方針

大幅なルート見直しが伴うことから、 当該地域へのバス停の新設は難しく、

「現状維持(変更なし)」とします。

### 彩都や箕面森町への新ルートの設定

#### ご意見の趣旨

• 箕面森町と彩都は箕面市であり、箕面市のコミュニティバスであるオレンジゆずるバスを当該地域にも走らせてほしい。

#### 箕面森町地域

【第5回オレンジゆずるバス検討分科会(平成21年)】

 オレンジゆずるバスの導入時に、北部ルート(箕面森町・ 止々呂美経由)を検討したが、便数を確保できないことや 市民説明会でのご意見を踏まえ、路線バス(箕面森町線) を住宅地へ延伸し、乗り継ぎ割引を実施することとした。

#### 彩都地域

【第3回オレンジゆずるバス再編検討分科会(令和4年)】

- 当時の市民アンケートより、北急延伸後も彩都地域においては彩都西駅の利用意向が高いこと
- 駅へのアクセス手段として徒歩や自転車の回答割合が高いこと
- ⇒**利用者の確保が見込めない**ため、乗り継ぎ割引の実施により対応することとした。

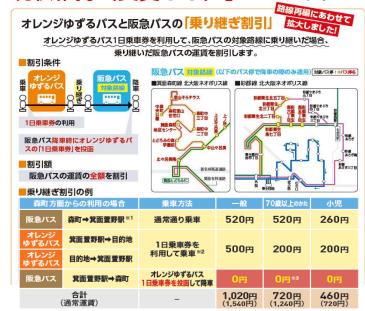
【その他】

• 現在、A I オンデマンド交通「のるーと箕面」の実証運行 を行っている。

#### これまでの協議をふまえた対応方針

バス路線再編の際に、乗り継ぎ割引を拡充し、 利便性の向上も図っており、また運転士不足の現状 からも、ルートの新設などは難しいため、

「現状維持(変更なし)」とします。



(参考)	地域	R6年度利用実績	1日あたり換算
	森町·止々呂美	173人	0.5人/日
	彩都	141人	0.4人/日